

富士市立中央病院 病院だより

創刊号

発行：平成20年7月20日

〒417-8567 富士市高島町50

電話：0545-52-1131 FAX：0545-51-7077

E-mail：byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

Fuji City General Hospital



開設者あいさつ

富士市長 鈴木 尚

富士市立中央病院は、昭和59年8月、現在の富士市高島町に移転開設しまし

た。以来、平成2年10月より新館の増築を行い、医療需要に対応した施設整備を進めてまいりました。病院ホームページ利用者が世論調査（平成18年度）では1割にも達していなかった結果もあり、市民の皆様が中央病院を身近に感じ、より多くの事を知っていたため、『病院だより』を発刊することとしました。

改めて申し上げるまでもなく、富士市立中央病院は富士保健医療圏の中核的機能を担う基幹病院として地域の医療供給体制を守ってまいりました。

このほか、結核病床、感染症病床を確保するとともに、救急告示病院、エイズ拠点病院、災害拠点病院の指定を受けるなど、公立病院ならではの医療を積極的に担ってまいりました。

今日、自治体病院の経営改革が社会問題としてク



ローズアップされるようになりました。自治体病院運営は、ますます厳しく、苦渋の年が続くものと思われま

す。医師不足も相まみえ、中央病院でも2病棟を休止する次第となりました。急速に変化する医療状況に柔軟に対応し、効率的な病院経営に努めるため、今年度より病院経営課を新設いたしました。

また、新医師臨床研修制度に端を発した、全国的な医師不足問題は、地方医療を脅かしております。中央病院においても、例外ではなく、産婦人科医引き揚げ問題が起こりました。私たちは、病院をあげて、市をあげて、地域医療が崩壊しないよう、守らなければなりません。これからも、たゆまぬ努力を続け、中央病院発展のために全力で取り組んでまいります。

今後も「地域の基幹病院として、市民の皆様により良い医療をやさしく安全に提供し、常に医療の向上に努めます。」を理念に、市民の皆様、関係者の方々には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

管理者あいさつ

富士市立中央病院 院長 山田 治男



大変な世の中になってきました。“医師確保、看護師確保”が困難な時代を迎えています。富士市立中央病院も例外ではありません。平成20年4月に大学から産婦人科医師の撤退の通告をされていますし、全体の医師の数も定員の二割減にて毎日の診療を継続しています。このような時だからこそ、富士市立中央病院の持っている機能を正確に市民の皆様にお知らせし、富士市民の健康と安心・安全が確保できることを目的に、この『病院だより』の発刊となりました。

私たち病院職員は、富士市立中央病院の理念である「地域の基幹病院として、市民の皆様により良い医療をやさしく安全に提供し、常に医療の向上に努めます。」をモットーに診療に励んでいます。

具体的な運営方針は

1 分かり易く確実に安心できる医療の提供

平易な言葉で説明し、分かり易い医療に努めます。中央病院で対応出来ない診療があれば、積極的に他の医療機関に紹介しております。

2 急性期病院の機能を堅持する。

市民の皆様にとって最も必要な医療です。もし病気になる時、一年365日24時間何時でも診療・入院治療が可能です。

3 外来型診療から入院型診療に重点を移す。

限られた人材では、外来と入院の両方を完全に行うことはできません。入院診療を中心に“病状が安定”すれば、その後最寄りの診療所で経過を診てもらい「病診連携機能」を充実させ、市民の皆様の安心を得たいと努力しています。

4 必要な人材の確保

これが中央病院の最重要課題です。急性期病院の機能を維持するためには人がいなければなりません。医師をはじめ、スタッフが揃うことで、次項の経営改善も計画的に達成することができます。

5 病院経営状況の改善

物流システムの導入や薬品管理の徹底化を図り、効率の良い病院経営を目指しています。

6 研修医に望まれる病院

地元出身の若い医師を自前で育て、病院のスタッフの一員になるような、若者に魅力ある病院作りを目指しています。

7 電子カルテの導入

電子カルテは平成21年5月に導入する予定です。患者様、市民の皆様の安全を確保するために、必要とする機械です。皆様の診療情報を速やかに、確実に、提供できるようになります。

このように、中央病院のスタッフは『市民の安全と安心』を得るため、日夜、努めているところですが、限られたスタッフと機能です。この『病院だより』を参考に、中央病院を有効にご利用いただくよう、お願いします。

富士市立中央病院診療日程表

2008年7月現在

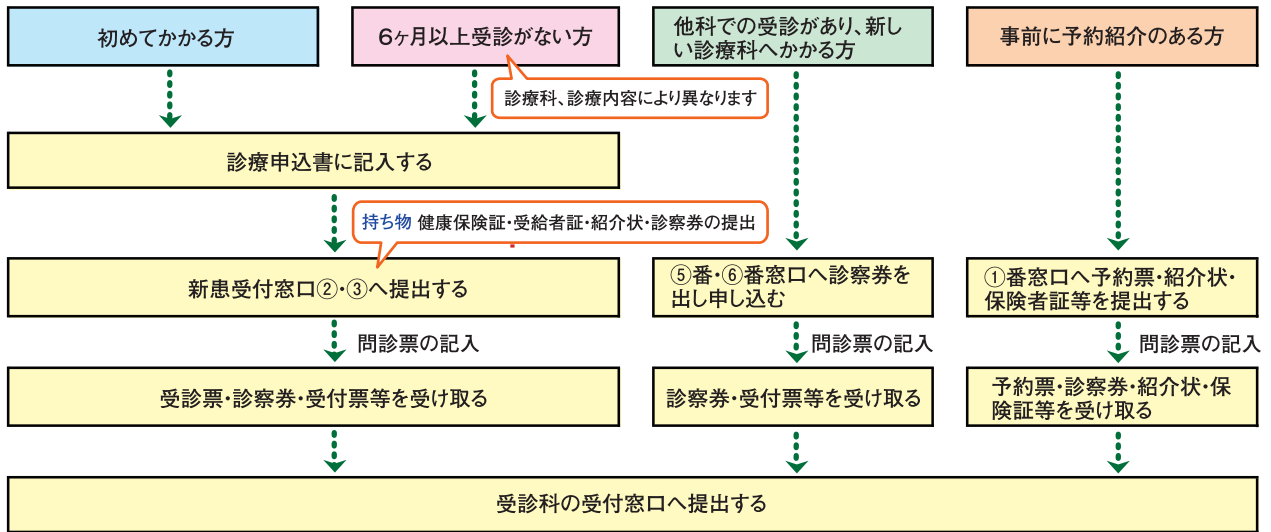
診療科 《部長名》	月	火	水	木	金	備 考
内科 初診 (代謝一般内科) 《藤井常宏》 (呼吸器内科) 《木村哲夫》 (消化器内科) (腎臓内科) 《笠井健司》	宮下	山城	鈴木	宇田川	町島	市田医師の診療は、第1と第3週の午後のみです。
	藤井	藤井	谷口	藤井	谷口	
	谷口	鈴木	山田	谷口	山城	
	木村	木村	木村	木村		
		馬場	市田			
神経内科 《森田昌代》	森田		村上	森田	森田	《火曜日は休診日です。》
循環器科 初診 (循環器内科) 《三川秀文》 (心臓血管外科) 《田中 圭》	荒瀬			阪本	鯨岡	金曜日の鯨岡医師の診療は奇数週です。 金曜日の小菅医師の診療は偶数週です。
	阪本	三川	三川	三川	三川	
				荒瀬	阪本	
					小菅	
小児科 《千葉博胤》	千葉	千葉	千葉	千葉	千葉	
	瀬川	瀬川	瀬川	瀬川	瀬川	
	秋山	秋山	秋山	秋山	秋山	
外科 《梶本徹也》	梶本	藤田	梶本	梶本	吉田	
	大町	吉田	大町	藤田	良元	
	小山	良元	毛利	吉田	毛利	
整形外科 《永井素大》	荒川	永井	(交替制)	永井	荒川	《初診は完全紹介状制です。水曜日は初診のみ。》 《水曜日の初診受付は、午前10時までです。》
	為貝	羽山	(交替制)	羽山	為貝	
脳神経外科 《諸岡 暁》	野田	諸岡	(交替制)	野田	諸岡	《水曜日は初診のみです。》 火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみ。
		秋山		森		
形成外科 《平川正彦》	平川	森	(交替制)	森	平川	《水曜日は初診のみです。》 《水曜日の初診受付は、午前10時までです。》
					荘司	
泌尿器科 《後藤博一》	後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	
産婦人科 《窪田尚弘》	窪田	国東	黒田	窪田	拝野	←婦人科再診 ←妊婦検診
	国東	拝野	窪田	拝野	黒田	
眼科 《讓原大輔》	讓原	讓原	讓原	讓原	讓原	
	藤谷	藤谷	藤谷		藤谷	
耳鼻咽喉科 《高柳博久》	須田	高柳	須田	高柳	(交替制)	金曜日は手術日です。
	小林	(交替制)	(交替制)	小林		
皮膚科 《津嶋友央》	津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	水曜日の津嶋医師は、第1.第3.第5週です。 水曜日の藤山医師は、第2.第4週です。
	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	
麻酔科 《堀口 徹》	堀口			堀口		
放射線科	福田			砂川		←治療外来 ←診断
	大平	大平	(交替制)	萬	成田	
歯科口腔外科 《勝山直彦》	勝山	片桐	勝山	勝山	勝山	月曜日、木曜日の初診は、勝山医師です。 水曜日、金曜日の初診は、井出医師です。 片桐医師の診療は、火曜日は第2、第4週、木曜日は第1、第3週です。
	井出		井出	井出	井出	
				片桐		

※6月末時点で作成しているため、発刊日当日と内容が異なることがあります。

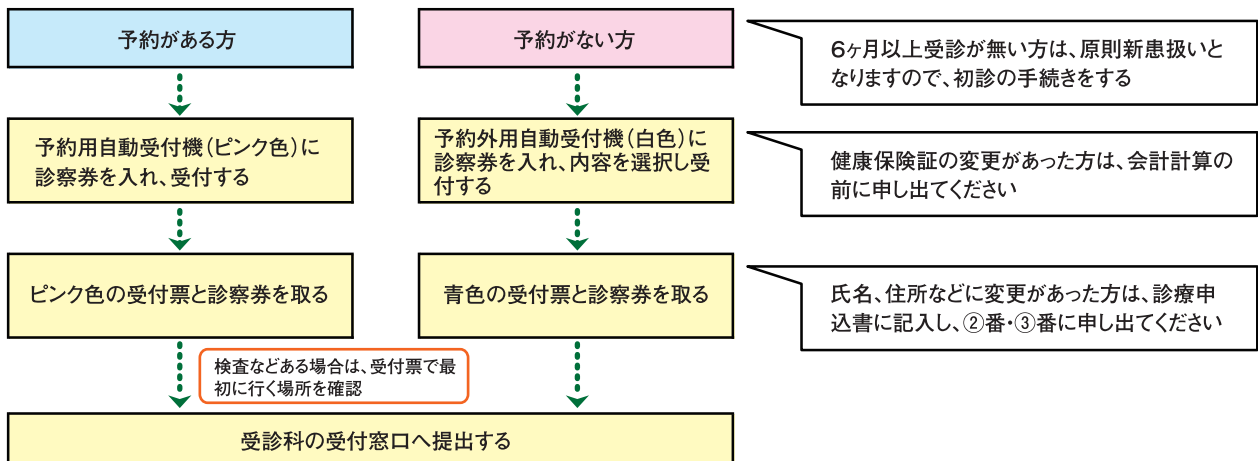


外来受診の手続き

初診



再診



会計

- 診察・検査など終了後、各科会計計算窓口か中央計算窓口へ受診票等を提出し、会計締め後、診察券を受け取り銀行窓口か自動支払機で支払う。
- お薬の出ている方は、領収書に薬引換番号の記載があるので、掲示板の薬番号を確認し薬局窓口で受け取る。

⚠ 注意事項

- ・健康保険証を持参されないと自由診療となります(後で、受診日に有効な保険証の提出があれば精算)。
- ・総合受付での受付時間は、平日午前8時から行っていますが、各科診療受付時間は、午前8時30分から午前11時まで(診療科・曜日により異なる場合あり)です(予約の方は除く)。
- ・診察券を忘れた場合、紛失した場合は診療に支障があるので再発行し、手数料210円を徴収します。
- ・初診で、紹介状をお持ちで無い場合は、特定初診料として1,050円が別に掛かります。
- ・受診する科が分からない場合は、総合相談センター(1階)の看護師にご相談ください。



おしらせ



産婦人科を受診する人へ

平成21年3月をもって産婦人科医師引き揚げの申し入れがあり、医師の確保に取り組んでいますが、いまだ確保に至っていません。そのため、平成21年4月以降に産婦人科を休止することを想定した対応をすることになりました。

平成20年6月23日以降に妊娠した人(平成21年3月1日以降に出産予定の人)は、中央病院での出産はできなくなりました。近隣の産院または産婦人科開設病院を受診してください。今後も引き続き、産婦人科医の確保に全力を尽くし、診療の継続が可能となった時点で新たな対応を行います。

- 産婦人科相談窓口(9時～17時、土・日曜日、祝日を除く)
総合相談センター(1階) ☎52-1131(内線2046)



整形外科の完全紹介状制・完全予約制の実施について

昨今の医師不足の影響により、当院でも整形外科医師の減員が続いております。(平成18年12月で6名でしたが、平成20年6月現在で5名(内1名病気療養中))

富士市の中核病院である当院の性格上、救急医療の対応を制限することは困難であり、現在の医師で外来・入院・救急業務を今まで通り行うことは不可能な状況に至っております。

つきましては平成20年7月1日から当分の間、当院の整形外科の外来診療は「完全紹介状制」・「完全予約制」を実施することになりました。

【初診について】

まず近隣の医療機関を受診していただき、その先生から当院地域連携室へ予約を取っていただき、紹介状等を持参の上、受診していただきます。

- ・紹介状をお持ちで、予約がある患者様は、予約時間に診察します。
 - ・紹介状をお持ちで、予約がない患者様は、予約患者様の合間に診察します。
- 診療受付時間は8:30～11:00(水曜日のみ8:30～10:00)です。
- ・紹介状をお持ちでない患者様は、受診をお断りいたします。

【再診について】

現在治療中の患者様は、全て予約制になります。

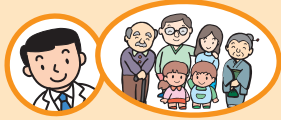
- ・予約がある患者様は、予約時間に診察します。
- ・予約がない患者様は、原則として受診をお断りしますが、治療上緊急処置が必要な場合のみ診察します。



精神神経科の休止について

精神神経科医師退職のため平成20年7月31日をもって休止します。これに伴い精神神経科の初診の患者様の受付は、平成20年6月30日をもって休止します。

市民の皆様には多大なご迷惑をおかけしますが、富士市の中核病院として良質な医療の提供を維持するため、やむを得ずこのような対応を致しますことをご理解いただきますようお願い申し上げます。



各種教室のご紹介

0545-52-1131

患者さんご家族を対象とした各種教室を開催しています。どなたでも無料で参加できますので、開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせのうえ、お気軽に参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

- 夜間糖尿病教室** 糖尿病についての正しい知識、自己管理のための方法について学びます。
日時:毎月第2火曜日 18時30分から20時00分まで お問い合わせ:栄養科 **内線2144**
- 腎臓病教室** 透析導入前の慢性腎不全の患者さんとそのご家族を対象に開催しています。
日時:毎月第3火曜日 15時00分から16時00分まで お問い合わせ:栄養科 **内線2144**
- ファミリークラス** 妊婦さんを対象に妊婦中の過ごし方から分娩・入院中の生活と赤ちゃんについて学びます。
日時:毎月1回第3月曜日 13時00分から16時00分まで お問い合わせ:産婦人科外来 **内線2337**

総合相談センター

内線2046

《受付時間および相談時間》

月曜日～金曜日 8時30分～16時30分

場所: 正面玄関入って、すぐ右手です。

～こんな相談を受け付けてます～

- 医療福祉相談** 地域連携室 **内線2918**
(健診含む)
- 看護相談** 総合相談センター **内線2046**
(がん相談含む)
- よろず相談** 総合相談センター **内線2046**
- 医療安全相談** 総合相談センター **内線2046**

その他の病院内の相談は…



- お薬相談** **内線2126**
月～金 8:30～17:00 お薬渡し口右横相談室
- 栄養相談** ※予約制です。 **内線2211**
月～金 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)
- 検査に関する相談・血糖自己測定器の説明** **内線2267**
月～金 8:30～17:00 中央検査相談室(2階)
- 糖尿病相談** 生活指導・自己管理 **内線2285** 内科外来
第2火曜 13:30～17:00 看護面談室(1階)

富士市立中央病院

～平成20年病院指針～

「心で築く地域医療・絆でつなぐ病診連携」

〒417-8567

住所:静岡県富士市高島町50

電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077

E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

【アクセス】

富士ICより 車で10分

東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分

東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

